

「数百人」避難の劇場に空爆 ウクライナ南部マリウポリ

3/17(木) 5:19 配信



< 2/6 >

ウクライナ南部マリウポリで、空爆を受ける前の劇場を捉えた衛星画像。建物前の地面には白字のロシア語で「子ども」と書かれている。マクサー・テクノロジーズ提供。(2022年3月14日撮影、同16日提供)。(c)AFP PHOTO / Satellite image 2022 Maxar Technologies

【AFP＝時事】（写真追加）ロシア軍に包囲されるウクライナ南部の港湾都市マリウポリ（Mariupol）の当局は16日、「数百人」の民間人が避難している劇場が、ロシア軍の空爆を受けたと発表した。

同市当局はメッセージアプリのテレグラム（Telegram）への投稿で、「数百人が避難している劇場をロシア軍が意図的に破壊した」と説明。当局が投稿した写真には、劇場の中央部分が完全に破壊され、がれきから煙が立ち上る様子が写されている。

米宇宙技術会社マクサー・テクノロジーズ（Maxar Technologies）が提供した今月14日撮影の衛星画像からは、劇場の両側の地面にロシア語で「子ども」と書かれたメッセージが確認できる。市当局は現在、人的被害の確認を試みているが、周辺で続く砲撃に阻まれているという。

一方、ウクライナ当局によると、北部チェルニヒウ（Chernihiv）では同日、パンの配給を受け取るために並んでいた人々がロシア軍の攻撃を受け、10人が死亡。さらに集合住宅が砲撃を受け、がれきの中から子ども3人を含む5人の遺体が収容された。【翻訳編集】 AFPBB News